

科目名 「 臨床医学概論 」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	牧山康秀

学習目標 (GIO)	臨床の場でよく遭遇する症候の基本的知識を学習し、それに関連する主要な疾患を理解する
担当教員	牧山康秀, 坂巻達夫, 大口純人, 丹羽秀夫, 井上文央, 廣田 均
教科書	症状の起こるメカニズム: 橋本信也著 医学書院
参考図書	
評価方法 (EV)	定期試験のみ行う。成績は試験に加え、出席状況および学修態度を参考とし総合的に評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	患者の訴え, すなわち, 症状がどうして起こっているのかを常に考えられるようになること。 質問等は 科目責任者 makiyama.yasuhide@nihon-u.ac.jp まで。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5	ショック	<p>【授業の一般目標】 ショックとは何か, その原因、緊急時の対応を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ショックの定義を説明できる。2. ショックの種類を説明できる。3. 緊急の対応を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	牧山
第2回 4/12	発熱・倦怠感・肥満・やせ	<p>【授業の一般目標】 体温調節のしくみ・発熱患者を見たときの対処など, また倦怠感・疲労はどのような侵襲が生体に加わっているのかを説明できる。体重の増減のシステムについても説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 発熱の仕組みと対応について説明できる。2. 倦怠感の仕組みと対応について説明できる。3. 倦怠感の仕組みと対応について説明できる。4. るいそうの仕組みと対応について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	坂巻

<p>第3回 4/19</p>	<p>頭痛・めまい・難聴・しびれ・視力障害（1）</p>	<p>【授業の一般目標】 頭痛・めまいなどの脳疾患および耳鼻科領域疾患を説明できる、生命に危険を及ぼす頭痛、めまいを説明できる。 【行動目標（SBOs）】 頭痛、めまい、難聴、しびれ、視力障害の仕組みとその対応について説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>廣田</p>
<p>第4回 4/26</p>	<p>意識障害・運動麻痺・けいれん</p>	<p>【授業の一般目標】 意識障害・運動麻痺・けいれんなどの脳神経疾患の主要症候を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 意識障害、運動麻痺、けいれんの仕組みを説明できる。その緊急の対処法を説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>廣田</p>
<p>第5回 5/10</p>	<p>咳・痰・呼吸困難</p>	<p>【授業の一般目標】 咳・痰・呼吸困難を説明できる。呼吸器疾患を中心に対処法も説明できる。 【行動目標（SBOs）】 咳、痰、呼吸困難の仕組みが説明できる。その緊急の対処法を説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>丹羽</p>
<p>第6回 5/17</p>	<p>胸痛・不整脈</p>	<p>【授業の一般目標】 胸痛や不整脈を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 胸痛、不整脈の仕組みが説明できる。その緊急の対処法を説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>大口</p>
<p>第7回 5/24</p>	<p>黄疸・腹水</p>	<p>【授業の一般目標】 黄疸・腹水を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 黄疸、腹水をきたす肝臓疾患を説明できる。その対処法を説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【学習方略（LS）】 講義</p>	<p>井上</p>

<p>第8回 5/31</p>	<p>頭痛・めまい・難聴・しびれ・視力障害(2)</p>	<p>【授業の一般目標】 聴覚器について構造と機能、また難聴の定義、対処法について学習する。 しびれについても病態生理を学習し、対処法について理解する。 眼科疾患である視力障害について学習し、理解する。 【行動目標 (SBOs)】 頭痛、めまい、難聴、しびれ、視力障害の仕組みとその対応について説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>丹羽</p>
<p>第9回 6/7</p>	<p>悪心・嘔吐・吐血・下血 下痢・腹痛・腹部腫瘍</p>	<p>【授業の一般目標】 悪心・嘔吐の上部消化器症状を説明できる。吐下血について病態生理を説明できる。 腹痛のしくみを説明できる。下痢、腹部腫瘍などをきたす腹部疾患を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 悪心、嘔吐、吐血、下血、下痢、腹痛、腹部腫瘍を説明し、その対処法を説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>坂巻</p>
<p>第10回 6/14</p>	<p>食欲不振・浮腫・リンパ節腫脹</p>	<p>【授業の一般目標】 食欲のメカニズムを説明できる。浮腫・リンパ節腫脹を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 食欲不振、浮腫、リンパ節腫脹の仕組みとその対処法を説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>大口</p>
<p>第11回 6/21</p>	<p>甲状腺腫・腰痛・関節症状</p>	<p>【授業の一般目標】 甲状腺腫を説明できる。 腰痛や関節痛が起こるしくみを説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 甲状腺腫、腰痛、関節症状の起こる仕組みを説明できる。その対処法を説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>丹羽</p>
<p>第12回 6/28</p>	<p>高血糖・貧血・出血傾向</p>	<p>【授業の一般目標】 血糖の調節、貧血を説明できる。止血を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 血糖値の異常を説明できる。その対処法を説明できる。貧血を説明できる。その対処法を説明できる。止血の異常を説明できる。その対処法を説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>井上</p>

<p>第13回 7/5</p>	<p>痛みとはなにか</p>	<p>【授業の一般目標】 痛みとは何か、その対処法について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 痛みの定義、種類を説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>牧山</p>
<p>第14回 7/12</p>	<p>排尿異常・尿所見異常・尿量異常・性行為感染症</p>	<p>【授業の一般目標】 尿の性状・排尿を説明できる。関連のある泌尿器科疾患を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 排尿異常、尿所見異常、尿量異常、性行為感染症について説明できる。その対処法について説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>廣田</p>
<p>第15回 7/19</p>	<p>痛みの治療</p>	<p>【授業の一般目標】 痛みの治療の考え方、実際に説明できる 【行動目標 (SBOs)】 痛みの種類、対処法を説明できる 【準備学習項目】 第13回講義を復習。15分。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>牧山</p>

科目名 「歯科衛生統計」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	有川量崇

学習目標 (GIO)	歯科保健を進めていくうえで、実態を調べて記録しそれを分析することは大切なことである。しかも、この過程において可能な限り定量的に取り扱うことが要求されることが多い。衛生統計では、歯科保健に必要な統計の基礎理論と、歯科保健に関わる調査で用いられることの多い各種指数の取り扱い方法やまとめ方について学ぶ。
担当教員	有川量崇 後藤田宏也 田口千恵子
教科書	最新歯科衛生士教本 保健情報統計学(医歯薬出版) 一年の時に使用した「口腔衛生」の教科書 配布プリント
参考図書	
評価方法 (E V)	定期試験を重視するが、授業で課された提出物も評価の対象にする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	理論も大切、実務も大切。数字の取り扱いになれてしまおう。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5	保健情報統計概論	【授業の一般目標】 保健情報と保健統計について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 保健情報を説明できる。 保健統計を説明できる。 保健情報の種類を説明できる。 【準備学習項目】 (30分) 保健情報と保健統計について概説できる 【学習方略 (LS)】 講義	有川
第2回 4/12	国家保健統計と人口保健統計	【授業の一般目標】 国家保健統計について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 統計法について説明できる。 口腔保健に関係する主な国家統計について説明できる。 人口静態統計および人口動態統計について説明できる。 【準備学習項目】 (30分) 国家保健統計について概説できる。 【学習方略 (LS)】 講義	後藤田

第3回 4/19	疫学Ⅰ	<p>【授業の一般目標】 保健情報と疫学について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 疫学分析について説明できる。健康障害の発生要因について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 保健情報と疫学について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	後藤田
第4回 4/26	疫学Ⅱ	<p>【授業の一般目標】 疫学の方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ・疫学の方法について説明できる。 ・疫学の定期および概要について説明できる。 ・疫学の方法について説明できる。スクリーニングについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 疫学の方法について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	後藤田
第5回 5/10	歯科保健統計に 用いられる指数	<p>【授業の一般目標】 歯科保健統計で用いられる主な指数について学び、指標の意義を理解できる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 数量化と指数について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 指標の意義について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	後藤田
第6回 5/17	歯科疾患の指標 (齲蝕)	<p>【授業の一般目標】 齲蝕の指数について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 齲蝕の診断基準について説明できる。齲蝕を表現する指数について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 齲蝕の指数について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川
第7回 5/24	歯科疾患の指標 (歯周疾患)	<p>【授業の一般目標】 歯周疾患の指数について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 歯周疾患の評価の条件を説明できる。歯周疾患に応用される指数について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 歯周疾患の指数について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p>	有川
第8回 5/31	歯科疾患の指標 (口腔清掃)	<p>【授業の一般目標】 口腔清掃の指数について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 口腔清掃状態を評価する指数について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 口腔清掃の指数について概説する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川

第9回 6/7	歯科疾患の指標 (歯のフッ素症と 不正咬合の指標)	<p>【授業の一般目標】 歯のフッ素症、不正咬合およびその他の歯科保健の指標について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 歯のフッ素症の指標について説明できる。不正咬合の指標について説明できる。その他の歯科保健指標の指標について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 歯のフッ素症、不正咬合およびその他の歯科保健の指標について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川
第10回 6/14	歯科疾患の疫学的 特性	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の疫学的特性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 齲蝕の疫学的特性について説明できる。歯周疾患の疫学的特性について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 歯科疾患の疫学的特性について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	田口
第11回 6/21	歯科疾患実態調査	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患実態調査について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 歯科疾患実態調査の調査内容について説明できる。歯科疾患実態調査の調査結果について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 歯科疾患実態調査について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	田口
第12回 6/28	保健情報の分析 手順	<p>【授業の一般目標】 保健情報の分析手順について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 保健情報の収集について説明できる。調査について説明できる。母集団と標本抽出について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 保健情報の分析手順について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	後藤田
第13回 7/5	保健統計の方法	<p>【授業の一般目標】 保健統計の方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 データの特性について説明できる。代表値、散布度および相関について説明できる。検定について説明できる。その他の保健統計の方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 保健統計の方法について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	後藤田
第14回 7/12	問題演習	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生統計学の問題解決法について習得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 歯科衛生統計学の問題解決法について具体的に説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (60分) 歯科衛生統計学の問題解決法について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川

第15回 7/19	まとめ	【授業の一般目標】 歯科衛生統計学の重要性について習得する。 【行動目標 (SBOs)】 歯科衛生統計学の重要性について具体的に説明できる。 【準備学習項目】 (60分) 歯科衛生統計学の重要性について概説できる。 【学習方略 (LS)】 講義	有川
--------------	-----	---	----

科目名 「衛生行政・社会福祉」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	有川量崇

学習目標 (GIO)	歯科衛生士として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することを目的とする。
担当教員	後藤田 宏也, 有川 量崇, 田口 千恵子
教科書	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 歯科衛生士と法律」全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社
参考図書	
評価方法 (EV)	最終評価は、中間試験 (20%) , 平常試験 (80%) によって行う。
学生への メッセージ オフィスアワー	各関係法規に基づいた歯科衛生士業務として、地域保健活動、産業保健などの保健活動、介護保険、さらに行政の保健事業の立案・実施に関する事項を学び、歯科衛生士業務が、単に医療機関における診療補助・保健指導だけでなく、幅広い社会活動が可能であることを理解するとともに、卒業後の進路における歯科衛生士の具体的な活動分野を知ってほしい。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/11	衛生行政・社会福祉概論	<p>【授業の一般目標】 法治国家における法・制度の成り立ちと重要性に触れ、衛生行政の目的を理解し、その組織と所掌内容を把握する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 衛生行政の目的を説明することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 新聞や雑誌などに記載されている社会保障関連事象に目をふれておく。30分。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇
第2回 4/18	歯科関連法規 歯科衛生士法	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士法の経緯・概要について理解する。身分法としての、免許取得より実務に至るまでを、細則を含め理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 歯科衛生士法を説明できる。 2. 歯科衛生士の業務を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯科衛生士の業務を把握できるよう院内などで調べておくこと。30分。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇
第3回 4/25 11:25~12:10	歯科関連法規 歯科医師法, 歯科技工士法	<p>【授業の一般目標】 歯科医師法, 歯科技工士法の詳細について修得し、歯科衛生士法との関係を明確に理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 歯科医師法について説明できる。 2. 歯科技工士法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯科医師, 歯科技工士の業務を把握できるよう院内などで調べておくこと。30分。 【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇

第4回 5/2	保健師助産師看護師法および関連医療従事者身分法	<p>【授業の一般目標】 保健師助産師看護師法および他の関連医療従事者身分法について学習し、歯科衛生士との業務連携について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 医療職について説明できる。 2. 介護福祉職について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 様々な医療・介護福祉職の業務を把握するため教科書を予習しておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇
第5回 5/9	医療法	<p>【授業の一般目標】 医療の理念とともに医療施設を規定した医療法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 医療法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 病院や診療所など様々な医療施設について調べておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇
第6回 5/16	地域保健法および健康増進法	<p>【授業の一般目標】 地域歯科保健活動に最も重要となる地域保健法を詳細に把握し、各市町村での保健活動がどのように変わってきたか、その状況を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 地域保健法について説明できる。 2. 健康増進法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 公衆衛生学で修得した地域保健活動について復習しておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇
第7回 5/23	高齢者の医療の確保に関する法律	<p>【授業の一般目標】 高齢者の医療の確保に関する法律の概要と、特定健康診査、特定保健指導について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者の医療の確保に関する法律について説明できる。 2. 特定健康診査・特定保健指導について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 高齢社会における医療費などの問題を考えておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇
第8回 5/30	障害者総合支援法	<p>【授業の一般目標】 ノーマライゼーションの理念とともに障害者施策。自立支援医療を規定した障害者総合支援法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 障害者総合支援法について説明できる。 2. 自立支援医療について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 障害者に対する施策とは何か、ノーマライゼーションとは何かを考えておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇 (田口 千恵子)
第9回 6/6	母子保健法および母子保健の行政組織	<p>【授業の一般目標】 母子保健活動に最も重要となる母子保健法を詳細に把握し、行政での保健活動がどのように変わってきたか、その状況を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 母子保健法について説明できる。 2. 母子保健事業と行政組織について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 少子化対策など母子保健事業を調べておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇 (田口 千恵子)

第10回 6/20	歯科口腔保健の推進に関する法律および8020運動	<p>【授業の一般目標】 歯科口腔保健の推進に関する法律の概要、また、8020運動との関わりを含め歯科衛生士の地域歯科保健活動について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 歯科口腔保健の推進に関する法律について説明できる。 2. 8020運動について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 社会における歯科医療の役割について調べておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇 (田口 千恵子)
第11回 7/11	食育基本法	<p>【授業の一般目標】 食育基本法の概要と歯科衛生士の栄養指導にどのように関わっていくのか理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 食育基本法について説明できる。 2. 栄養指導と歯科衛生士の業務について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 食育について調べておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇
第12回 7/18 10:40~11:25	医療保険制度	<p>【授業の一般目標】 国民皆保険であるわが国の社会保険制度の概要と仕組みを理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 医療保険制度について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 我が国の医療保険制度について調べておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇
第13回 7/18 11:25~12:10	医療経済	<p>【授業の一般目標】 わが国の国民医療費と医療経済を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 国民医療費や医療経済について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 我が国の国民医療費について調べておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川 量崇
第14回 7/19 10:40~11:25	社会福祉① 介護保険	<p>【授業の一般目標】 社会福祉制度の概要と介護保険制度について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 介護保険制度について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 我が国の介護保険制度について調べておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	後藤田 宏也
第15回 7/19 11:25~12:10	社会福祉② 児童福祉、障害者福祉等	<p>【授業の一般目標】 児童福祉や障害者福祉等の社会福祉制度について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 児童福祉を中心とした社会福祉について説明できる。 2. 児童虐待について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 児童虐待について調べておくこと。30分。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	後藤田 宏也

科目名 「口腔機能発達学」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	野本 たかと

学習目標 (GIO)	口腔の機能には咀嚼、摂食嚥下、呼吸、言語、顔貌形成、感情表現から消化、免疫応答への関与に至るまで多くの機能が存在しており、全身の健康状態と密接な関係がある。口腔機能は元来備わっている機能ではなく、学習によって正常な発達を獲得するため全身状態や環境と深い関係がある。つまり口腔の機能は胎児期を経て出生してから小児期、成人に至るまで発達・変化し老年期には減退していく。これらの過程において何らかの問題が生じた場合には全身の健康状態にまで影響を及ぼすことから包括的な支援が必要となる。従って健康増進支援を担う医療人である歯科衛生士の社会的役割として、人のライフサイクルを通しての口腔機能の維持管理があることを十分に認識し、遂行に必要な知識および技術を修得する。
担当教員	野本たかと、三田村佐智代、遠藤眞美、猪俣英理、井樋加奈子
教科書	特になし。 必要に応じてプリントを配布する
参考図書	授業時に参考図書を示す
評価方法 (EV)	原則として定期試験(100%)を評価点とする。定期試験は、各講義担当教員が出題し、その総合評価とする。なお、配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	全身の健康は口腔からであり、歯科衛生士の担うべき事は多い。口腔機能は人のライフサイクルを通して生命の維持から生活の質にいたるまで幅広い範囲に影響を及ぼしていることを十分に理解し、歯科衛生士として将来口腔機能の適切な管理を通して健康の維持・増進に寄与できるような人材となるべきであること認識して受講してください。 オフィスアワー：月曜日～金曜日 8:30～17:30 質問があれば研究室に来てください。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5	口腔機能と全身機能	<p>【授業の一般目標】 口腔機能において特に生命の維持に深く関与する摂食嚥下機能とそれに深く関与する発音機能の知識を修得することは口腔機能管理を担う歯科衛生士として重要であることを理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ライフサイクルから見た口腔の機能についてその発達と変化について説明できる 2. 口腔機能の全身への関与について説明できる 3. 脳神経の発達と口腔機能との関連性を説明できる 4. ライフサイクルから見た口腔感覚の発達と変化について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 口の機能について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して口腔管理にかかわる歯科衛生士として二大口腔機能である摂食嚥下機能と発音機能についての知識を修得することが健康増進の支援において重要であることを学ぶ</p>	三田村

<p>第2回 4/12</p>	<p>口腔機能の発達 ：音声言語機能 ・呼吸機能</p>	<p>【授業の一般目標】 摂食・嚥下機能に関与する発音機能と呼吸器について理解し、それらの発達および変化についての知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 発声発語に関与する器官および発達について説明できる 2. 呼吸に関与する器官および発達について説明できる 3. 発音機能・呼吸機能と摂食嚥下機能との関連性について説明できる 【準備学習項目・時間】 口の機能について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して口腔機能管理に携わる歯科衛生士として、摂食嚥下機能と音声言語および呼吸機能が深い関係にあることを学ぶ</p>	<p>三田村</p>
<p>第3回 4/19</p>	<p>口腔機能の発達と障害 ：哺乳期</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の発達が段階を経て獲得されていくことを理解するために、胎児期から哺乳期にかけての口腔機能の正常発達およびこの期間に認められる障害についての知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 胎児期における口腔機能の発達と状態を説明できる 2. 哺乳期の口腔領域の器官形態の成長、口腔機能の発達と哺乳の関係性を説明できる 3. 吸啜・呼吸・嚥下の関係性を説明できる 4. 哺乳期における異常と障害を説明できる 【準備学習項目・時間】 ライフサイクルから見た口腔機能の発達と変化の概要を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して口腔機能の獲得が学習によって獲得されていくことを知り、生理的機能異常のある場合には正常な口腔機能の獲得が困難になることを学ぶ</p>	<p>猪俣 (野本)</p>
<p>第4回 4/26</p>	<p>口腔機能の発達 ：離乳期</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の発達が段階を経て獲得されていくことを理解するために、離乳期の口腔機能の正常発達についての知識を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 離乳期の顎顔面口腔領域器官の形態発達を説明できる 2. 離乳期の口腔機能の特徴を説明できる 3. 離乳期における口腔機能の発達と摂食機能の発達との関連性を説明できる 4. 離乳期における身体機能の発達と摂食機能の発達との関連性を説明できる 5. 離乳期に口腔機能および身体機能の発達と食物形態との関係性を説明できる 【準備学習項目・時間】 哺乳期の口腔機能の発達について説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して口腔機能の獲得が学習と口腔関連器官および身体機能の発達によって成り立つことを学ぶ</p>	<p>猪俣 (野本)</p>

<p>第5回 5/10</p>	<p>口腔機能の障害 ：離乳期</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の発達が段階を経て獲得されていくことを理解するために、離乳期における生理的機能の発達の遅れが正常な摂食嚥下機能の獲得に深く関与することを理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 離乳期にみられる顎顔面口腔領域における器官形態および機能異常を説明できる 2. 離乳期における摂食嚥下機能の障を説明できる 3. 離乳期における摂食嚥下機能障害と食物形態との関連を説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 離乳期における正常な口腔機能の発達および身体機能の発達を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して顎顔面口腔領域器官の形態および機能異常や身体機能の発達障害が正常な口腔機能の獲得に深く関与することを学ぶ</p>	<p>猪俣 (野本)</p>
<p>第6回 5/17</p>	<p>口腔機能の発達 ：自食期</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の発達が段階を経て獲得されていくことを理解するために、自食期における正常な口腔機能の発達、関連器官の形態および身体機能の発達についての知識を修得する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 自食準備期の関連身体器官の形態および機能の正常発達を説明できる 2. 自食準備期の顎顔面口腔領域の器官および形態の正常発達を説明できる 3. 手づかみ食べ機能獲得期の関連器官の形態および機能の正常発達を説明できる 4. 食具食べ機能獲得期の関連器官の形態および機能の正常発達を説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 離乳期の関連身体器官および口腔器官の形態・機能の正常発達を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して正常な摂食嚥下機能の獲得に正常な口腔機能および身体機能の発達が深く関与していることを学ぶ</p>	<p>三田村</p>
<p>第7回 5/24</p>	<p>口腔機能の障害 ：自食期</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の発達が段階を経て獲得されていくことを理解するために、自食準備期ならびに自食期における生理的機能の発達の遅れが正常な摂食嚥下機能の獲得に深く関与することを理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 自食準備期の身体器官および顎顔面口腔領域器官の形態・機能異常を説明できる 2. 自食期の摂食嚥下機能障害を説明できる 3. 自食期の摂食機能障害と食物形態および食具の形態との関連性を説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 自食準備期・自食期の正常な身体機能および口腔機能の発達を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して地域口腔保健活動の一環として障害児者の口腔機能管理に携わった際の課題の解決のために、自食期における障害についての基礎的知識を学ぶ</p>	<p>三田村</p>

<p>第8回 5/31</p>	<p>学童期と 口腔の健康</p>	<p>【授業の一般目標】 段階を経て得られる口腔機能の獲得が身体機能のみならず環境要因も深く関与していることを知り、学童の健全な身体的精神的発達と健康と口腔との関連性について理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 学童期における正常な口腔器官の形態および機能の特徴を説明できる 2. 学童期における食の問題点を説明できる 3. 学童期における食の問題点とその要因を説明できる 4. 学童期における口腔内環境と健全な身体・精神発達との関連性を説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 学童期までの正常な身体および口腔器官の形態・機能の発達を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して学童期の食の問題点を認識することで口腔機能と口腔内環境が全身の健全な発達と健康に関与していることを学ぶ</p>	<p>猪俣 (野本)</p>
<p>第9回 6/7</p>	<p>思春期と 口腔の健康</p>	<p>【授業の一般目標】 段階を経て得られる口腔機能の獲得が身体機能のみならず環境要因にも深く関与していることを知り、思春期における健全な身体的精神的発達と口腔との関係性について理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 思春期の正常な口腔器官の形態および機能の特徴を説明できる 2. 思春期における食の問題点を説明できる 3. 思春期における食の問題点とその要因を説明できる 4. 思春期における口腔内環境と健全な身体・精神発達との関連性を説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 私憤期までの正常な身体および口腔器官の形態および機能の発達を説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して思春期の食の問題点を認識することで口腔機能と口腔内環境が全身の健全な発達と健康に関与していることを学ぶ</p>	<p>三田村</p>
<p>第10回 6/14</p>	<p>成人期・老年期に おける口腔機能</p>	<p>【授業の一般目標】 中途障害や加齢による生理的機能の低下により一度獲得した口腔機能の低下もしくは喪失の状態を把握し、健康増進支援において口腔機能の維持向上が重要であることを理解する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 1. 中途障害に認められる口腔機能の特徴を説明できる 2. 加齢による生理的機能の低下を説明できる 3. 高齢者に認められる口腔機能の特を説明できる 4. 口腔機能の低下もしくは喪失と全身の健康との関連性を説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 正常な口腔機能の獲得について説明できる・60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義を介して一度獲得した口腔機能が低下もしくは喪失した場合に起こりうる全身への影響とその維持向上の重要性について学ぶ</p>	<p>遠藤</p>

<p>第11回 6/21</p>	<p>食育 1</p>	<p>【授業の一般目標】 2005年に食育基本法が成立された意義を知り、「食べるこ と」が生命の維持だけでなく生理的、心理的、社会的、文化 的に重要な意味を持つことを理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 食育についての概要を説明できる 2. 食育が推進されてきた原因と意義について説明できる 3. 食育に関する現状と今後の発展について説明できる 【準備学習項目・時間】 現在の日本における食の問題点と健康との関係性について説 明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して口腔機能の管理は口腔に関する健康のみならず 全身の健康から社会的背景や環境にも関与することを学ぶ</p>	<p>遠藤</p>
<p>第12回 6/28</p>	<p>食育 2</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の一つである「食べる」ことが生理的、心理的、社 会的、文化的意義を持ち合わせており、地域医療に貢献する 歯科衛生士として知育、徳育及び体育の基礎となる食育にお いて果たすべき役割を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 口腔管理を担う衛生士として食育における役割について 説明できる 2. 食育支援を担う衛生士として他業種との連携の重要性に ついて説明できる 【準備学習項目・時間】 現在の日本における食の問題点と健康との関係性について説 明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して口腔機能の管理は口腔に関する健康のみならず 全身の健康から社会的背景や環境にも携わることであることを学ぶ</p>	<p>遠藤</p>
<p>第13回 7/5</p>	<p>口腔機能と その管理</p>	<p>【授業の一般目標】 全身疾患との関連性からみた口腔機能管理の重要性について 理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 口腔機能と全身疾患の関連について説明できる 2. 口腔機能の維持と栄養管理について説明できる 3. フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームと 口腔機能の関連について説明できる 4. その他口腔内状態に起因する合併症について説明できる 【準備学習項目・時間】 口腔機能について基本的事項を説明できる・60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して口腔ケアが単なる口腔清掃管理のみならず口腔 機能の維持向上でもあることを知り、口腔機能の発達と状態 に合わせたケアをすることが健康増進支援につながることを 学ぶ</p>	<p>三田村</p>
<p>第14回 7/12</p>	<p>口腔機能管理 ：歯科衛生士の役 割</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能管理における歯科衛生士としての役割を理解し、口 腔機能の維持向上の支援方法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 口腔ケア (器質的、機能的) について説明できる 2. 個人、集団における口腔ケア方法の実践的指導を説明で きる 3. 口腔ケアについて歯科衛生士としての治療計画を衛生過 程で説明できる 【準備学習項目・時間】 ライフステージごとの口腔機能の特徴について説明できる・ 60分 【学習方略 (LS)】 講義を介して口腔管理を担う歯科衛生士として一度低下もし くは喪失した口腔機能の維持管理における実際の支援方法に ついて学ぶ</p>	<p>井樋 (野本)</p>

<p>第15回 7/19</p>	<p>口腔機能管理における歯科衛生士の役割 ：支援体制</p>	<p>【授業の一般目標】 地域口腔保健活動に従事する歯科衛生士として口腔機能の維持管理を担うことの重要性を理解し、遂行するために必要な知識を修得する チーム医療医療連携リスク管理</p> <p>【行動目標（SB0s）】 1. 口腔機能の維持向上に従事するうえで生じるリスクについて説明できる 2. ライフサイクルを通じた人の生活環境および社会環境について説明できる 3. 口腔機能の維持向上に携わる業種について説明できる 4. 口腔機能の維持向上における医療連携の重要性について説明できる</p> <p>【準備学習項目・時間】 ライフサイクルからみた口腔機能の発達と変化について理解し、全身の健康増進支援の観点からみた口腔ケアの重要性について説明できる・60分</p> <p>【学習方略（LS）】 講義を介して将来従事するであろう地域口腔保健活動での歯科衛生士として重要な役割である口腔機能維持管理においてリスク管理と医療連携の重要性について学ぶ</p>	<p>野本</p>
----------------------	-------------------------------------	---	-----------

科目名 「 歯科保健指導論 V 」

学年	学期	科目責任者
3学年	前学期	岡元

学習目標 (GIO)	集団に対する指導方法を身に付け、健康教育についての知識・技能・態度を修得する。
担当教員	岡元、和田、移川、中澤、小櫃
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版(株) 歯科衛生士教本 『歯科保健指導総論』医歯薬出版(株) 『改訂歯ブラシ辞典』学健書院 『歯肉を読む』クインテッセンス(株)
参考図書	最新歯科衛生士教本 『小児歯科学』医歯薬出版(株) *各グループごとにライフステージに応じた参考図書を探す。
評価方法 (EV)	態度(積極性)、提出物(レポート)、定期試験を評価する。 *刷掃指導への取り組みや感想レポートも評価します。
学生へのメッセージ オフィスアワー	小集団指導に向けて、指導案・媒体を作成してください。PDCAサイクルを活用し、評価・改善を行いましょ。う。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/11	学校歯科保健 I (計画)	<p>【授業の一般目標】 小集団指導における、指導媒体の作成と指導方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 対象に応じた指導媒体を作成することができる。 色、形など忠実に再現することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 指導案を完成させておくこと。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	専任教員
第2回 4/25 PM	口腔保健管理実習	<p>【授業の一般目標】 実際の患者さんに接するための接遇・マナーなどを修得し、コミュニケーションを取りながら相手が理解しやすい歯科保健指導を実践する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 問診票から患者さんの問題点を把握することができる。 患者さんとコミュニケーションを計ることができる。 わかりやすい言葉で歯科保健指導を行うことができる。 タイムスケジュール通りに進行することができる。 安全に配慮して歯面研磨を行うことができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 対象者に必要と思われる指導媒体を準備してください。(45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 1・3年生合同実習</p>	専任教員

第3回 5/2	学校歯科保健Ⅲ (計画・実施)	<p>【授業の一般目標】 小集団指導のために、指導媒体を作成し指導方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 リハーサルを想定した最終チェックを行う。 媒体を1つ完成させる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 メンバー全員が指導内容を把握していること。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	専任教員
第4回 5/9	学校歯科保健Ⅳ リハーサル① (実施・評価)	<p>【授業の一般目標】 リハーサルを行い、全体の流れを確認し不備がないようにする。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 リハーサルを実施できる。 より良い指導方法を討議する。 媒体の複製を行う。</p> <p>【準備学習項目・時間】 指導媒体を完成させておくこと。(120分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	専任教員
第5回 5/16	学校歯科保健Ⅴ (評価・改善)	<p>【授業の一般目標】 前回のリハーサルをもとに、指導媒体および指導方法を修正できる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 指導媒体の作成と指導方法を再考する。 媒体の複製を行う。</p> <p>【準備学習項目・時間】 (90分) 指導媒体を使用した指導方法を把握しておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	専任教員
第6回 5/23	学校歯科保健Ⅵ リハーサル② (実施・評価)	<p>【授業の一般目標】 前回までの反省点を踏まえたリハーサルを実施する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 全員が指導内容を把握している。 リハーサルを実施できる。 より良い指導方法を討議できる。 媒体の複製を行う。</p> <p>【準備学習項目・時間】 指導媒体を使用した指導方法を把握しておくこと。(90分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	専任教員
第7回 5/30	学校歯科保健Ⅶ (評価・改善)	<p>【授業の一般目標】 リハーサルで出た意見を元に、修正する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 実際の小集団を想定して練習できる。 講話者とアシスタントの役割を分担できる。 媒体の複製を行う。</p> <p>【準備学習項目・時間】 刷掃指導班毎に、担当学年の指導内容を把握しておくこと。(90分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	専任教員

<p>第8回 6/6</p>	<p>学校歯科保健Ⅷ 最終リハーサル③ (実施・評価・改善)</p>	<p>【授業の一般目標】 講話者とアシスタントの役割分担と、集団に対する伝達方法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 歯科保健指導論の授業と関連づけられる。指導媒体を使用して指導方法を練習できる。本番を想定したリハーサルを実施できる。 【準備学習項目・時間】 小集団指導本番を想定して臨むこと。(90分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>専任教員</p>
<p>第9回 6/13 AM</p>	<p>小集団指導Ⅰ (実施・評価・改善)</p>	<p>【授業の一般目標】 対象者に応じた対応を身につけ、集団指導の実際を学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 大きな声ではっきりと話すことができる。全体を見て状況に応じた指示を出すことができる。決められた時間内に実施することができる。 【準備学習項目・時間】 実習に備え、練習をしておくこと。(90分) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>専任教員 学事委員</p>
<p>第10回 6/13 PM</p>	<p>小集団指導振り返り 評価・改善</p>	<p>【授業の一般目標】 媒体作成から指導までを振り返り、今後の自己課題を見出す。 【行動目標 (SBOs)】 それぞれの良かったところを書き出す。改善点を話し合う。グループごとに工夫した点をまとめる。 【準備学習項目・時間】 振り返り用紙の記入(90分) 【学習方略 (LS)】 レポート、ディスカッション</p>	<p>岡元</p>
<p>第11回 6/20</p>	<p>小集団指導振り返り 改善・計画</p>	<p>【授業の一般目標】 前回の反省点を元に、媒体・指導内容の修正を行う。 【行動目標 (SBOs)】 改善点を話し合い、修正を行う。指導案の見直しを行う。 【準備学習項目・時間】 振り返り用紙の記入(90分) 【学習方略 (LS)】 ディスカッション ※小集団指導実習Ⅱは6/22(臨床実習時間において)に実施する：1年生同行</p>	<p>岡元</p>
<p>第12回 6/27 AM</p>	<p>小集団指導Ⅲ (実施・評価・改善)</p>	<p>【授業の一般目標】 対象者に応じた対応を身につけ、集団指導の実際を学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 大きな声ではっきりと話すことができる。全体を見て状況に応じた指示を出すことができる。決められた時間内に実施することができる。 【準備学習項目・時間】 実習に備え、練習をしておくこと。(90分) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>専任教員 学事委員</p>

<p>第13回 6/27 PM</p>	<p>小集団指導振り返り 改善・計画</p>	<p>【授業の一般目標】 媒体作成から指導までを振り返り、今後の自己課題を見出す。 【行動目標 (SBOs)】 それぞれの良かったところを書き出す。 改善点を話し合う。 グループごとに工夫した点をまとめる。 【準備学習項目・時間】 振り返り用紙の記入 (90分) 【学習方略 (LS)】 レポート、ディスカッション</p>	<p>岡元</p>
<p>第14回 7/4 AM</p>	<p>小集団指導IV (実施・評価・改善) 日本大学幼稚園 日本大学第一小学校</p>	<p>【授業の一般目標】 個別指導・グループ指導を行い、状況に応じたブラッシング指導をする。 【行動目標 (SBOs)】 ブラッシング観察を行い、個別指導する。 口腔内状況に応じたブラッシング指導をする。 【準備学習項目・時間】 実習に備え、練習をしておくこと。(90分) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>岡元</p>
<p>第15回 7/11</p>	<p>小集団指導V (実施・評価・改善)</p>	<p>【授業の一般目標】 個別指導・グループ指導を行い、状況に応じたブラッシング指導をする。 【行動目標 (SBOs)】 ブラッシング観察を行い、個別指導する。 口腔内状況に応じたブラッシング指導をする。 【準備学習項目・時間】 実習に備え、練習をしておくこと。(90分) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>岡元</p>

科目名 「 歯科診療補助論Ⅴ 」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	和田 由紀子

学習目標 (GIO)	専門的な歯科診療の補助に対応するために必要な知識、技能および態度を身につける。
担当教員	保存修復学 : 岡田 珠美 ク라운・ブリッジ補綴学 : 曾田 雅啓, 若見 昌信, 後藤 治彦 専任教員 : 和田 由紀子, 移川 明美, 小櫃 綾乃
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科診療補助論』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 新歯科衛生士教本 『歯科診療補助』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 新歯科衛生士教本 『歯科材料の知識と取り扱い』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 新歯科衛生士教本 『歯科器械の知識と取り扱い』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株)
参考図書	最新歯科衛生士教本 『歯科診療補助論 第2版』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 最新歯科衛生士教本 『歯科材料』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 最新歯科衛生士教本 『歯科機器』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 最新歯科衛生士教本 『歯の硬組織・歯髄疾患 保存治療・歯内療法』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 最新歯科衛生士教本 『歯周疾患・歯周治療』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株) 最新歯科衛生士教本 『小児歯科』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株)
評価方法 (EV)	講義は定期試験, 実習は実習課題にて評価し, 履修態度と合わせて総合的に評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	3 学年は各分野の総まとめであり, 実践に向けて技能の向上を図ってほしい。 毎時間を大切に臨み, 医療人として体調管理を行い欠席しないよう心がけること。原則として欠席した学生への補講は行わない。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5 (水)	保存診療時の共同動作～保存診療①～	【授業の一般目標】 ・保存診療時の歯科診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 <input type="checkbox"/> レジン充填, 根管治療, 根管充填について実践を視聴することで流れをつかむことができる。 <input type="checkbox"/> 各種セメントの特徴・取り扱いについて繰り返し実習することで確実な技術を修得することができる。 【準備学習項目・時間】 保存診療時の共同動作について十分に復習して臨むこと。 (60分) 【学習方略 (LS)】 講義・実習	和田 移川

<p>第2回 4/12 (水)</p> <p>第3回 4/19 (水)</p> <p>第4回 4/26 (水)</p>	<p>超音波スケーラー使用時のバキューム操作</p>	<p>【授業の一般目標】 超音波スケーラー使用時に術者がバキューム操作をできるようになるための知識・技能・態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ・超音波スケーラー使用時の術者バキュームを実施できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 ・超音波スケーラーの使用方法を復習のこと。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>和田 移川 小櫃</p>
<p>第5回 5/10 (水)</p>	<p>保存診療時の共同動作～保存治療②防湿法・隔壁法マネキン実習～</p>	<p>【授業の一般目標】 保存治療のラバーダム多数歯連結法・隔壁の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度をマネキン実習にて修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ・ラバーダム多数歯連結法を行うことができる。 ・マトリックスリテーナーによる隔壁を行うことができる。 ・Tバンドによる隔壁法を行うことができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 ・2学年で学んだ防湿法・隔壁法について復習のこと。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>和田 移川 小櫃</p>
<p>第6回 5/17 (水)</p> <p>第7回 5/24 (水)</p> <p>第8回 5/31 (水)</p>	<p>保存診療時の共同動作～保存治療③防湿法・隔壁法 相互実習～</p> <p>小児歯科診療時の共同動作～小児歯科治療 小窩裂溝填塞～</p>	<p>【授業の一般目標】 保存治療時の隔壁の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を相互実習にて修得する。 小児歯科治療時のラバーダム防湿・小窩裂溝の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ・小窩裂溝填塞法を実施することができる。 ・ラバーダム多数歯連結法を行うことができる。 ・マトリックスリテーナーによる隔壁を行うことができる。 ・Tバンドによる隔壁法を行うことができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 マネキン実習と小窩裂溝填塞法を復習のこと。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>和田 移川 小櫃</p>
<p>第9回 6/7 (水)</p>	<p>保存診療時の共同動作 ～保存治療⑤インレー修復 連合印象～</p>	<p>【授業の一般目標】 保存診療の連合印象の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ・寒天・アルギン酸印象材の特徴を述べる。 ・寒天・アルギン酸連合印象の補助を実施できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 印象材について復習のこと。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡田 和田</p>

<p>第10回 6/14 (水)</p>	<p>保存診療時の共同動作～保存診療④インレー修復 仮封～</p>	<p>【授業の一般目標】 保存診療時の仮封の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・仮封材の種類を列挙できる。 ・仮封材 (デュラシーラ) の取り扱いができる。 【準備学習項目・時間】 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』4章7を読んでおくこと。(60分) *エポキシ模型 (2級窩洞) 使用 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>和田 移川</p>
<p>第11回 6/21 (水)</p>	<p>全身疾患を持つ患者と歯科診療補助</p>	<p>【授業の一般目標】 全身疾患を持つ患者の歯科診療補助ができるようになるための知識・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・全身疾患を持つ患者に対する偶発事故防止の注意事項を述べることができる。 ・在宅訪問診療の流れと診療時の留意点を述べるができる。 【準備学習項目・時間】 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助』5章を読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義 *7月19日 (水) は社会保険、衛生行政・社会福祉に振り替える。</p>	<p>和田</p>
<p>第12回 6/28 (水) 第13回 7/5 (水)</p>	<p>補綴診療時の共同動作～補綴診療プロビジョナルレストレーション・仮着～</p>	<p>【授業の一般目標】 補綴診療におけるプロビジョナルレストレーションの製作ができるようになるために必要な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 プロビジョナルレストレーションの目的について理解する。 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、使用器具およびそれらの使用法を習得する。 プロビジョナルレストレーションの製作方法について述べるができる。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。 【準備学習項目・時間】 プロビジョナルレストレーションの目的、製作に必要な材料、使用器具およびそれらの使用法について学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。(60分) 【学習方略 (LS)】 プロビジョナルレストレーションの目的、製作に必要な材料、使用器具および製作方法について講義を行う。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作および仮着の実習を行う。</p>	<p>和田 見藤 田 會 若 後 和</p>
<p>第14回 7/12 (水)</p>	<p>歯周治療時の診療補助～歯周外科処置 歯周包帯材～</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周外科処置時の歯周包帯の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・歯周用バックの種類を列挙できる。 ・歯周用バックの取り扱いができる。 【準備学習項目・時間】 新歯科衛生士教本『歯科診療補助』II編5章Vを読んでおくこと。(60分) 【学習方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>和田 移川</p>

<p>第15回 7/18 (火)</p>	<p>保存診療時の共同動作～保存治療⑥ホワイトニング～</p>	<p>【授業の一般目標】 保存治療のホワイトニングの歯科診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。(GC)</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトニング材料の特徴, 取り扱いがわかる。 ・ホワイトニングの手順を説明できる。 ・ホワイトニングの器具や材料の名称と用途を説明し, 準備ができる。 ・マネキンにて歯肉保護を実施できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新歯科衛生士教本『歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』P 2 1 7～2 2 1 を読んでおくこと。(60分) <p>【学習方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>和田</p>
--------------------------	---------------------------------	--	-----------

科目名 「社会保険」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	河野善治 木本統

学習目標 (GIO)	昭和36年に国民皆保険制度が導入されて以来、歯科医師のほとんどが保険医として地域医療に貢献している。そして、歯科衛生士もデンタルスタッフの一員として歯科医師と共に社会保険制度の中で医療行為を業務とする機会が与えられている。そのため、社会保険制度を知り、保険診療における歯科衛生士の役割と位置付けについて理解することを目標とする。
担当教員	河野善治 木本統
教科書	特になし
参考図書	歯科保険請求マニュアル 高橋一祐 医歯薬出版
評価方法 (EV)	定期試験および出席状況で評価する
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科医療のほとんどは保険診療として行われているため、歯科衛生士が歯科医師と共に医療業務を遂行するためには社会保険制度を理解しなければならない。社会において歯科衛生士として活躍する多くの場所は開業医であるため、診療報酬明細書の理解は不可欠となる。診療報酬明細書の作成は経済上、大変重要な仕事でもあるので十分な知識を持っていただきたい。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/11	健康保険制度と請求事務	<p>【授業の一般目標】 医療保険制度と請求事務の役割を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 社会保障の種類を説明できる。 医療保険制度の種類を説明できる。 請求・審査・支払いの流れを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 医療保険制度について調べておく。30分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	河野善治
第2回 4/18 10:40~11:25	診療録と診療報酬明細書の構成	<p>【授業の一般目標】 診療録の構成と診療報酬明細書の構成・点数を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 診療録に必要な記載法を説明できる。 診療報酬明細書の構成を説明できる。 診療録から診療報酬明細書への転記を実施することができる。</p> <p>【準備学習項目】 診療録と診療報酬明細書について調べておく。30分</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	河野善治

<p>第3回 4/18 11:25~12:10</p>	<p>傷病名部位の記載</p>	<p>【授業の一般目標】 診療録の傷病名と診療報酬明細書の傷病名を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 診療録の傷病名を診療報酬明細書に適した簡略病名に変換できる。 診療録の傷病名部位を診療報酬明細書へ転記ができる。 【準備学習項目】 傷病名の種類を調べておく。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>木本 統</p>
<p>第4回 4/18 13:20~14:05</p>	<p>基本診療の記載</p>	<p>【授業の一般目標】 基本診療の構成と算定要件を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 初診の算定法を説明できる。 再診の算定法を説明できる。 【準備学習項目】 基本診療とは何か概説できる。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>木本 統</p>
<p>第5回 4/25 10:40~11:25</p>	<p>管理の記載</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科医学管理の算定要件を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 管理の種類を説明できる。 各管理の算定法を説明できる。 【準備学習項目】 歯科医学管理について概説できる。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>木本 統</p>
<p>第6回 5/2</p>	<p>投薬・検査の記載</p>	<p>【授業の一般目標】 投薬および検査の算定要件を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 投薬に必要な算定条件を説明できる。 各検査の算定法を説明できる。 【準備学習項目】 投薬および検査の種類について概説できる。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>河野善治</p>
<p>第7回 5/9</p>	<p>処置の記載</p>	<p>【授業の一般目標】 各処置法を類別し、その算定要件を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 処置の類別を説明できる。 各処置に必要な算定条件を説明できる。 【準備学習項目】 各処置法を類別の類別を概説できる。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>木本 統</p>

<p>第 8 回 5/16</p>	<p>手術・麻酔の記載</p>	<p>【授業の一般目標】 手術と麻酔の算定要件を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 手術の類別を説明できる。 麻酔の種類と使用部位を説明できる。 手術に必要な麻酔の算定条件を説明できる。 【準備学習項目】 手術と麻酔の行為を概説できる。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>河野善治</p>
<p>第 9 回 5/23</p>	<p>歯冠修復の記載 I</p>	<p>【授業の一般目標】 成形歯冠修復の算定要件を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 成形歯冠修復の類別を説明できる。 各成形歯冠修復法の算定要件を説明できる。 【準備学習項目】 成形歯冠修復の種類を概説できる。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>木本 統</p>
<p>第 10 回 5/30</p>	<p>歯冠修復の記載 II</p>	<p>【授業の一般目標】 鑄造歯冠修復の算定要件を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 歯冠形成法・印象法・咬合採得法・合着法を説明できる 鑄造歯冠修復法の一連の作業工程に対する算定条件を説明できる。 【準備学習項目】 鑄造歯冠修復の種類を概説できる。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>河野善治</p>
<p>第 11 回 6/6</p>	<p>欠損補綴の記載 I</p>	<p>【授業の一般目標】 ブリッジの算定要件を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ブリッジの形成法・印象法・咬合採得法・合着法を説明できる ブリッジの一連の作業工程に対する算定条件を説明できる。 【準備学習項目】 ブリッジの構造について調べておく。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>木本 統</p>
<p>第 12 回 6/20</p>	<p>欠損補綴の記載 II</p>	<p>【授業の一般目標】 有床義歯の算定要件を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 有床義歯の印象法・咬合採得法を説明できる 有床義歯の一連の作業工程に対する算定条件を説明できる。 【準備学習項目】 有床義歯の種類と構造を概説できる。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>河野善治</p>

<p>第13回 7/11 15:10～15:55</p>	<p>訪問診療の記載</p>	<p>【授業の一般目標】 訪問診療の算定要件を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 在宅診療の在り方を説明できる 訪問診療料と治療内容に対する算定点数の条件を説明できる。 【準備学習項目】 訪問診療とはどのような診療か概説できる。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>木本 統</p>
<p>第14回 7/19 9:00～9:45</p>	<p>訪問診療の記載</p>	<p>【授業の一般目標】 訪問診療の処置を理解し、算定要件を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 訪問診療における一連の治療に対する算定条件を説明できる。 【準備学習項目】 訪問診療の種類について概説できる。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>河野善治</p>
<p>第15回 7/19 9:45～10:30</p>	<p>症例による明細書 への転記</p>	<p>【授業の一般目標】 一症例として歯周疾患の一連の処置を理解し、算定要件を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 歯周処置における一連の治療に対する算定条件を説明できる。 【準備学習項目】 歯周疾患処置の種類について概説できる。30分 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>河野善治</p>

科目名 「 課題研究 」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	オーガナイザー 野本 たかと

学習目標 (GIO)	臨床症例報告書の作成および発表をするために、歯科衛生過程を振り返り、歯科衛生業務における疑問や課題を見つけ、資料や文献検索を行い、治療経過の考察をする。
担当教員	副校長：野本たかと 教務主任：石橋 肇 専任教員：中澤 広美、岡元 明菜、移川 明美、和田 由紀子、小櫃 綾乃 学事委員
教科書	特になし
参考図書	「歯科衛生研究の進め方・論文の書き方」 医歯薬出版（株） *各自、症例検討に応じて必要な参考図書を準備すること。
評価方法 (EV)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究に取り組む意欲・関心・態度 ・研究内容および構成 ・プレゼンテーションの技術 ・データの取り扱い ・臨床症例レポート <p style="text-align: right;">等 総合的に評価する</p>
学生への メッセージ オフィスアワー	対象者の健康支援をしていく上で行動変容に結び付けるために、まずは問題の発見および解決方法を考えなければならない。またそこからのアプローチ方法の検討も必要である。この課題研究を通じて歯科衛生業務の重要性を認識し、それを伝えられるような人材になって欲しい。また卒業後も、常に研究心を持って業務に取り組むことを臨む。 *各自データー保存のために課題研究用のUSBメモリーを準備すること。 データー管理は慎重に行うこと。医療人としての倫理に配慮すること。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/11 (火)	課題研究とは	<p>【授業の一般目標】 臨床課題研究を進めるために必要な研究計画立案および作業計画案の作成方法を知る。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本授業の学習意義が説明できる。 ・研究計画が立案ができる。 ・作業計画が立案ができる。 ・医療人として倫理的配慮ができる。 <p>【準備学習項目】 2学年後期保健指導論学んだ歯科衛生過程について復習をする。 2学年保健指導論で作成した計画シート（配布プリントも含）を準備すること。 学内パソコンIDおよびパスワードを順部すること。（45分）</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義・演習</p>	野本 中澤
第2回 4/18 (火)	臨床課題研究の 展開と作業①	<p>【授業の一般目標】 臨床課題研究を進めるために必要な文献・資料検索方法を知る。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献の検索することができる。 ・必要資料を検索することができる。 ・医療人として倫理的配慮ができる。 <p>【準備学習項目】 学内ポータルサイトへの接続方法の確認（15分）</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義・演習</p>	中澤

第3回 4/25 (火)	学校歯科保健Ⅱ (計画・実施)	<p>【授業の一般目標】 小集団指導のために、指導媒体を作成し指導方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 リハーサルを想定した最終チェックを行う。 媒体を1つ完成させる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 メンバー全員が指導内容を把握していること。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	中澤 岡元
第4回 5/2 (火)	学校歯科保健Ⅲ (計画・実施)	<p>【授業の一般目標】 小集団指導のために、指導媒体を作成し指導方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 リハーサルを想定した最終チェックを行う。 媒体を1つ完成させる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 メンバー全員が指導内容を把握していること。(60分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	中澤 岡元
第5回 5/9 (火)	学校歯科保健Ⅳ リハーサル① (実施・評価)	<p>【授業の一般目標】 リハーサルを行い、全体の流れを確認し不備がないようにする。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 リハーサルを実施できる。 より良い指導方法を討議する。 媒体の複製を行う。</p> <p>【準備学習項目・時間】 指導媒体を完成させておくこと。(120分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	中澤 岡元
第6回 5/16 (火)	学校歯科保健Ⅴ (評価・改善)	<p>【授業の一般目標】 前回のリハーサルをもとに、指導媒体および指導方法を修正できる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 指導媒体の作成と指導方法を再考する。 媒体の複製を行う。</p> <p>【準備学習項目・時間】 (90分) 指導媒体を使用した指導方法を把握しておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	中澤 岡元
第7回 5/23 (火)	学校歯科保健Ⅵ リハーサル② (実施・評価)	<p>【授業の一般目標】 前回までの反省点を踏まえたリハーサルを実施する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 全員が指導内容を把握している。 リハーサルを実施できる。 より良い指導方法を討議できる。 媒体の複製を行う。</p> <p>【準備学習項目・時間】 指導媒体を使用した指導方法を把握しておくこと。(90分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	中澤 岡元
第8回 5/30 (火)	学校歯科保健Ⅶ (評価・改善)	<p>【授業の一般目標】 リハーサルで出た意見を元に、修正する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 実際の小集団を想定して練習できる。 講話者とアシスタントの役割を分担できる。 媒体の複製を行う。</p> <p>【準備学習項目・時間】 刷掃指導班毎に、担当学年の指導内容を把握しておくこと。(90分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	中澤 岡元

<p>第9回 6/6 (火)</p>	<p>学校歯科保健Ⅷ 最終リハーサル③ (実施・評価・改善)</p>	<p>【授業の一般目標】 講話者とアシスタントの役割分担と、集団に対する伝達方法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 歯科保健指導論の授業と関連づけられる。指導媒体を使用して指導方法を練習できる。本番を想定したリハーサルを実施できる。 【準備学習項目・時間】 小集団指導本番を想定して臨むこと。(90分) 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>中澤岡元</p>
<p>第10回 6/13 (火)</p>	<p>小集団指導Ⅰ (実施・評価・改善)</p>	<p>【授業の一般目標】 対象者に応じた対応を身につけ、集団指導の実際を学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 大きな声ではっきりと話すことができる。全体を見て状況に応じた指示を出すことができる。決められた時間内に実施することができる。 【準備学習項目・時間】 実習に備え、練習をしておくこと。(90分) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>中澤岡元</p>
<p>第11回 6/20 (火)</p>	<p>小集団指導振り返り 改善・計画</p>	<p>【授業の一般目標】 前回の反省点を元に、媒体・指導内容の修正を行う。 【行動目標 (SB0s)】 改善点を話し合い、修正を行う。指導案の見直しを行う。 【準備学習項目・時間】 振り返り用紙の記入(90分) 【学習方略 (LS)】 ディスカッション ※小集団指導実習Ⅱは6/22(臨床実習時間において)に実施する：1年生同行</p>	<p>中澤岡元</p>
<p>第12回 6/27 (火)</p>	<p>小集団指導Ⅲ (実施・評価・改善)</p>	<p>【授業の一般目標】 対象者に応じた対応を身につけ、集団指導の実際を学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 大きな声ではっきりと話すことができる。全体を見て状況に応じた指示を出すことができる。決められた時間内に実施することができる。 【準備学習項目・時間】 実習に備え、練習をしておくこと。(90分) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>中澤岡元</p>
<p>第13回 7/4 (火)</p>	<p>小集団指導Ⅳ (実施・評価・改善) 日本大学幼稚園 日本大学第一小学校</p>	<p>【授業の一般目標】 個別指導・グループ指導を行い、状況に応じたブラッシング指導をする。 【行動目標 (SB0s)】 ブラッシング観察を行い、個別指導する。口腔内状況に応じたブラッシング指導をする。 【準備学習項目・時間】 実習に備え、練習をしておくこと。(90分) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>中澤岡元</p>

<p>第14回 7/11</p>	<p>臨床課題研究の 展開と作業②</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床課題研究を進めるために研究計画および作業計画の再検討を実施する。 【行動目標 (SB0s)】 ・研究計画および作業計画の再検討を実施する。 ・医療人として倫理的配慮ができる。 【準備学習項目】 歯科衛生過程の復習 本授業第1回目2回目の復習 患者診療の状況の確認をしておくこと。 【学習方略 (LS)】 講義・演習</p>	<p>中澤</p>
<p>第15回 7/18</p>	<p>臨床課題研究の 展開と作業③</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床課題研究をまとめるために必要な文献および資料検索をし研究作業を実施する。 【行動目標 (SB0s)】 ・スライドの原案が作成できる。 ・医療人として倫理的配慮ができる。 【準備学習項目】 ・パワーポイントの使用方法の確認 (60分) 【学習方略 (LS)】 講義・演習</p>	<p>中澤</p>

科目名 「 統合演習 」

学年	学期	科目責任者
3	後学期	校長：平塚 浩一

学習目標 (GIO)	これまで習得してきた知識・技術について再認識するために、自己を理解し、再評価を行い、3年間の総知識を基礎演習および臨床演習として修得する。
担当教員	各科目講師
教科書	各担当講師の指示に従う
参考図書	必要に応じて参考図書および文献を指定する
評価方法 (EV)	客観試験
学生への メッセージ オフィスアワー	附属歯科衛生専門学校での最終学年として、3年間で身につけた実技・知識をを再確認すること。 不足分は速やかに補うこと。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
10/1~1/31	別途記載	別途記載	別途記載